

平成25年度高齢者世帯等実態調査

アンケートのまとめ

久御山町社会福祉協議会
久御山町民生児童委員協議会

も く じ

1. 平成25年度高齢者世帯等実態調査について（実施要綱）	2
2. 高齢者世帯調査のまとめ	4
3. 高齢者の在宅介護者調査のまとめ	11
4. ひとり暮らしの高齢者世帯調査のまとめ	17

1. 平成 25 年度高齢者世帯等実態調査について（実施要綱）

【調査の目的】

少子高齢社会が進みつつある現在、私たちの暮らしに関する課題、特に福祉課題や生活課題といわれるものは複雑で多岐になっている。

また 2 年前に発生した東日本大震災以降、全国で頻発する地震や豪雨災害を目の当たりにし、地域住民の関係性、いわゆる「ネットワーク」や「絆」と呼ばれるものが大変重要といわれている。

そこで、久御山町内の居宅で居住されている福祉課題の当事者性をもつ高齢者等（高齢者世帯、高齢者の在宅介護者、ひとり暮らし高齢者）の居住実態を把握し、久御山町の地域福祉活動や災害時要配慮者対策の資料とするために調査を実施する。

【主催】

社会福祉法人 久御山町社会福祉協議会
久御山町民生児童委員協議会

【協力】

久御山町・町内福祉関係事業所

【調査の対象】

(1) 高齢者世帯

久御山町に在住し、「おおむね 65 歳以上の高齢者のみ」、または「おおむね 65 歳以上の高齢者と 18 歳以下の若年者のみ」で構成する複数世帯

(2) 高齢者の在宅介護者

久御山町に在住し、おおむね 65 歳以上で 3 か月以上高齢者を在宅で介護している方
※おおむねベッド上での生活の方、また日中は車いすで座っていられる程度の方も含む

(3) ひとり暮らしの高齢者世帯

久御山町に在住し、おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者

【調査担当者】

久御山町民生児童委員

【調査基準日】

平成25年10月15日（火）

【調査実施期間】

平成25年10月15日（火）～平成25年10月31日（木）

【調査の方法】

- (1) 調査対象世帯へ調査担当者が調査票（アンケート）一式を持参し、調査についての説明を行う。
- (2) 調査対象者が直接調査票へ記入していただく。なお心身の障害等により対象者による記入が難しい場合は、担当者が聞き取りの上で調査票への記入をしていただく。
- (3) 記入された調査票は同封の封筒に入れていただき、担当者が回収を行う。
- (4) 回収された調査票は名簿部分と調査票部分に分け、名簿部分は調査対象別名簿を作成する。また調査票は町内に居住する福祉課題をもつ高齢者及びその介護者の意向として集計を行う。

【その他、調査に係る留意点】

- (1) 調査の実施にあたり、調査票（アンケート）と調査対象別個人名簿は別に集計を行うため、別綴じとする。
- (2) 調査対象別個人名簿では、「性別」・「年齢」・「住所」・「電話番号」・「緊急連絡先」・「ADL等本人状況」などを把握する。
- (3) 地震や洪水などに被災した際に迅速な救助活動や支援活動を行うため、町内防災組織等において当該名簿を活用することの承諾をいただく。なお、平時における防災・減災にむけた活動への使用についても名簿活用の可否の判断をいただく。
- (4) 本調査において主催者である社会福祉協議会と久御山町民生児童委員協議会が調査対象者の個人情報（名簿等）を取得する必要性は本要綱案の「1. 調査の目的」に集約されるものとし、両者がその認識を共有する。

2. 高齢者世帯調査のまとめ

【概況】

高齢者世帯は407世帯832人となっており、前回調査(平成23年10月)の331世帯640人と比較すると88世帯192人の増加となっており、前回調査と同じく大きく増加しているように見える。

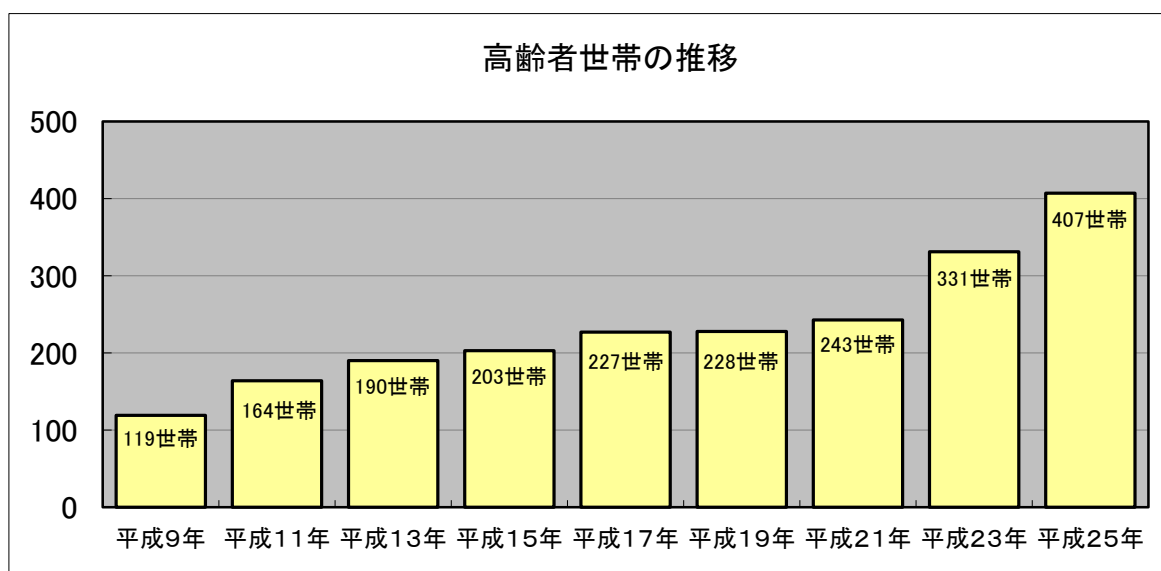
校區別では、過去2回の調査とほぼ同じ割合で東角校区、佐山校区、御牧校区の順となっているが、上記の総数と同じく、校区ごとの数は増加しており、特に東角校区については、45世帯の増加となっている。

構成員の性別については男女ともに約50%程度となっており、高齢者世帯における性別上の偏りは少ないものとする。

今後も高齢化の進行に伴ってこの増加の傾向は継続するものと思われる。

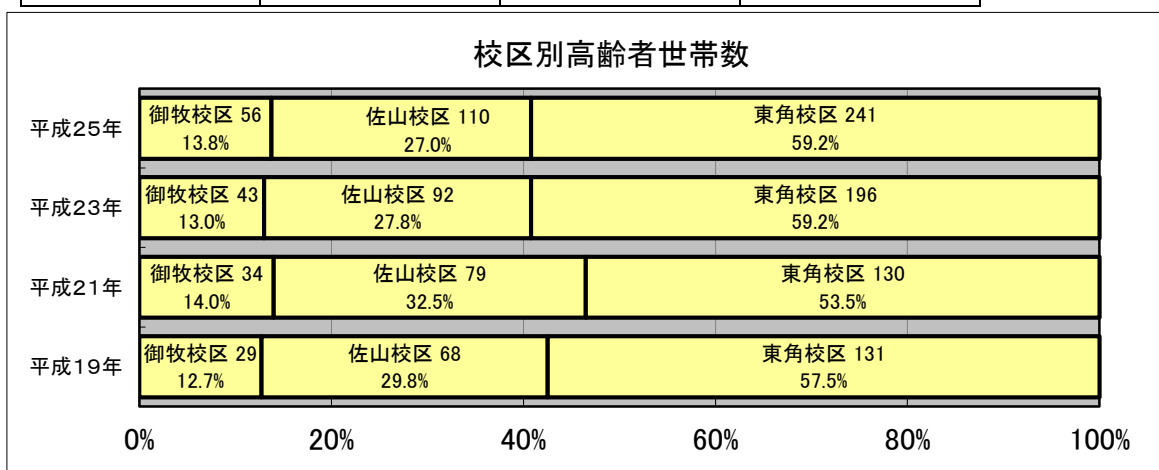
【高齢者世帯数の推移】

年 度	平成11年	平成13年	平成15年	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年
世帯数	164	190	203	227	228	243	331	407



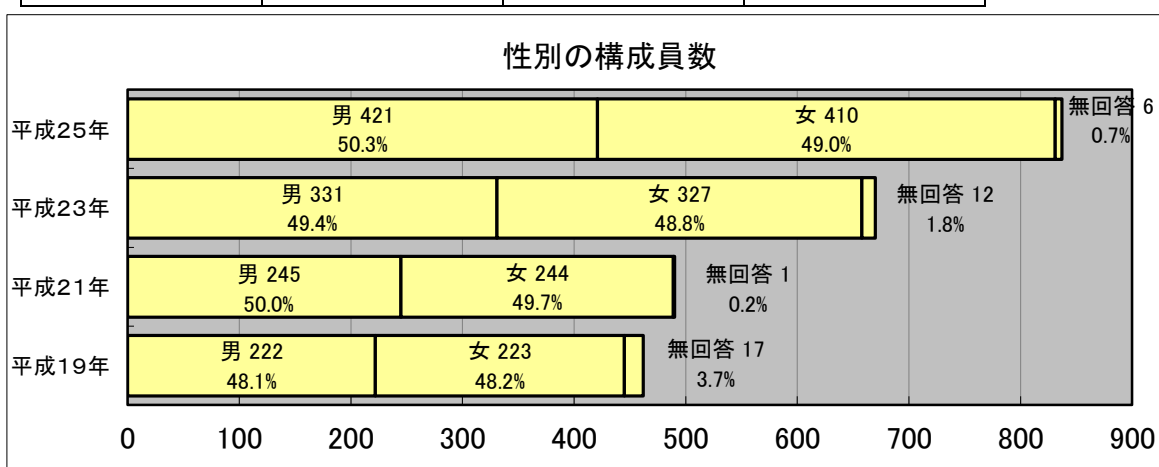
【校区别高齢者世帯数】

調査年度	御牧校区	佐山校区	東角校区
平成 25 年	56 (13.8%)	110 (27.0%)	241 (59.2%)
平成 23 年	43 (13.0%)	92 (27.8%)	196 (59.2%)
平成 21 年	34 (14.0%)	79 (32.5%)	130 (53.5%)
平成 19 年	29 (12.7%)	68 (29.8%)	131 (57.5%)



【性別の構成員数】

	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
平成 25 年	421 (50.3%)	410 (49.0%)	6 (0.7%)
平成 23 年	331 (49.4%)	327 (48.8%)	12 (1.8%)
平成 21 年	245 (50.0%)	244 (49.8%)	1 (0.2%)
平成 19 年	222 (48.1%)	223 (48.3%)	17 (3.6%)



【調査項目ごとの集計】

問1. あなたの性別を教えてください。

	回答	%
男性	421	50.3%
女性	410	49.0%
無回答	6	0.7%
合計	837	

問2. あなたの年齢を教えてください。

	回答	%
69歳以下	205	24.6%
70歳～74歳	238	28.6%
75歳～79歳	205	24.6%
80歳～84歳	114	13.7%
85歳～89歳	35	4.2%
90歳以上	14	1.7%
無回答	21	2.5%
合計	832	

年齢については、「70歳～74歳」が238人(28.6%)で最も多く、次いで「69歳未満」と「75歳～79歳」が共に205人(24.6%)という結果だった。

前回調査と同じく、調査回答者の大半を84歳以下が占めている結果となった。

問3. お子さんや近親者とは、どのくらいの間隔で会っておられますか。

	回答	%
ほぼ毎日	66	15.8%
週に3～5回	29	7.0%
週に1～2回	82	19.7%
月に1～2回	137	32.9%
年に5～6回	52	12.5%
年に1～2回	32	7.7%
ほとんどない	5	1.2%
近親者はいない	3	0.7%
無回答	11	2.6%
合計	417	

近親者との関わりの頻度については、「月に1～2回」が137人で最も多く、次いで「週に1～2回」、「ほぼ毎日」となっており、2年前及び4年前の調査とほぼ同じ結果となっている。

また少数ではあるが、「ほとんどない」、「近親者はいない」と答えた方が8人いることも見ておく必要がある。

問4. お子さんや近親者は、どこにお住まいですか。

	回答	%
久御山町	134	21.8%
宇治市	95	15.5%
城陽市	35	5.7%
京都市	119	19.4%
京都府内で前記以外の地域	52	8.5%
京都府外の地域	167	27.2%
無回答	12	2.0%
合計	614	

(複数回答あり)

近親者の居住地は、「京都府外の地域」が167人(27.2%)と最も多い結果だったが、逆に322人(66.3%)の人は京都府内に近親者がいると答えている。前回の調査では、「京都府外の地域」が31.7%だったが、今回は少し比率が下がった。

問5. 毎日の生活の中で、心配していることや困っていることがありますか。

	回答	%
親族関係	7	1.2%
病 気	137	23.9%
収 入	43	7.5%
仕 事	6	1.0%
近所付き合い	6	1.0%
食事の用意	19	3.3%
掃 除	20	3.5%
ゴミ出し	6	1.0%
買い物	21	3.7%
将来のこと	89	15.5%
気軽に付き合える友人がない	2	0.3%
日々の金銭管理	2	0.3%
話を聞いてもらえる人がいない	2	0.3%
心配事はない	99	17.3%
その他	31	5.4%
無回答	83	14.5%
合計	573	

(複数回答あり)

心配ごとや困りごとについては、「病気」が137人(23.9%)で最も多く、次いで「心配ごとはない」が99人(17.3%)となった。なお前回調査で2番目だった「将来のこと」は少し減少して89人(15.5%)となっている。

ただ、全回答者407世帯から見ると、99世帯を減じた308世帯内に何らかの心配ごとがあるものとする。

**問6. 将来どちらかが倒れた場合、もしくはお二人とも倒れられた場合、
どうしたいと思いますか。**

	回答	%
子どもや近親者に頼る	115	25.2%
ホームヘルパーやショートステイなどの在宅福祉サービスを利用する	56	12.3%
老人ホームなどの施設を利用する	114	25.0%
わからない	126	27.6%
その他	13	2.9%
無回答	32	7.0%
合計	456	

(複数回答あり)

介護・介助が必要な状況になった場合、「わからない」が27.6%、次いで「子どもや近親者に頼る」が25.2%、そして「施設を利用する」が25.0%となっている。「わからない」が多いことから、今後もさまざまな情報提供が重要だと考える。

問7. 体の具合はいかがですか。

	回答	%
大変健康である	41	4.8%
大きな病気や障害もなく普通に生活している	325	38.4%
何らかの病気等はあるが自宅で生活できている	394	46.6%
その他	18	2.1%
無回答	68	8.0%
合計	846	

(複数回答あり)

「何らかの病気はあるが自宅で生活している」が46.6%で最も多い。また「普通に生活している」と「大変健康である」と答えた人が43.2%となっており、ほぼ前回調査と同じ結果となった。

問8. あなたは、ふだん健康に気をつけていますか。

	回答	%
気をつけている	676	81.1%
気をつけていない	7	0.8%
どちらともいえない	86	10.3%
無回答	65	7.8%
合計	834	

(複数回答あり)

8割以上の方が「気をつけている」と答えている。前回調査では83.0%だったため、微減という結果になっている。

多くの人が健康に留意して生活されていることがわかる。

問9. 問8で「気をつけている」とお答えの方にお聞きします。特に気をつけていることは何ですか。

	回答	%
散歩やスポーツをしている	356	12.4%
栄養のバランスなど食事に気をつけている	492	17.2%
規則正しい生活を心がけている	448	15.6%
健康に関する本やテレビをみている	258	9.0%
定期的に健診を受けている	792	27.6%
睡眠時間を十分とるようにしている	419	14.6%
無回答	101	3.5%
合計	2,866	

(複数回答あり)

「定期的な検診」と「食事」、そして「規則正しい生活」と「睡眠時間」や「運動」など、さまざまな設問について多くの回答があったことから、複数回答された方が多いことが伺える。

問10. 社会福祉協議会では、地域福祉を充実させるためにさまざまな活動や取り組みを行っていますが、要望等があればお書きください。

①福祉サービスについて

- ・土、日、祝日でも何かあったときに即座に体制をとってほしい。
- ・行事を近くでやってほしい。
- ・民生委員の活動内容等がよく把握できていないです。

②社会福祉協議会について

- ・申請をすれば在宅で散髪をしていただけると聞いたことがありますが、利用条件があるのでしょうか。現在は家内がしてくれています。
- ・社会福祉協議会は久御山町役場の下部団体ですか。
- ・協議会各種活動の取り組みを心強く思っています。何かと問題もあり大変だとは思いますがよろしく願いいたします。

③久御山町について

- ・久御山町に競技用の温水プールがあればいいなと思う。
- ・のってこバスを利用していますが、佐山は回数が少ない。乗車しても利用者が少ないので困難と思いますが、回数を増やす利便性を考慮してください。
- ・散歩やスポーツに気を付けるように心がけているが不十分で、いきいきスマイル塾の体操に参加をして健康に留意してトレーニングに励んでいる。
- ・介護予防の体操に参加することができて感謝しています。

④福祉施設や総合病院について

- ・自由に利用できる老人福祉施設が多く必要になると思います。できるだけ早く整備をして安心して老後が過ごせる町にしてください。
- ・老人ホーム建設の予定はないですか！久御山町も4～5年先には40%の高齢化に向かうと思います。考えなければいけない時期に来ていると思う。
- ・わが町には総合病院がなく、非常に困っています。もう何回も要望しています。よき回答を依頼します。
- ・特養の受け入れ体制を充実してほしい。

⑤その他について

- ・主人の腎臓に関する食事や病気のことを詳しく知りたい。
- ・現在夫婦とも健康であり、日常生活に支障はありません。
- ・健康に気を付けて過ごしたいと思っておりますが、お助けいただきたいときはよろしくお願ひします。

3. 高齢者の在宅介護者調査のまとめ

【概況】

今回調査における「在宅で介護を受けている高齢者」は65人となっており、前回調査(平成23年10月)と比べると2人の減少となっており、平成15年に実施した調査以降、10年ぶりに減少したこととなる。

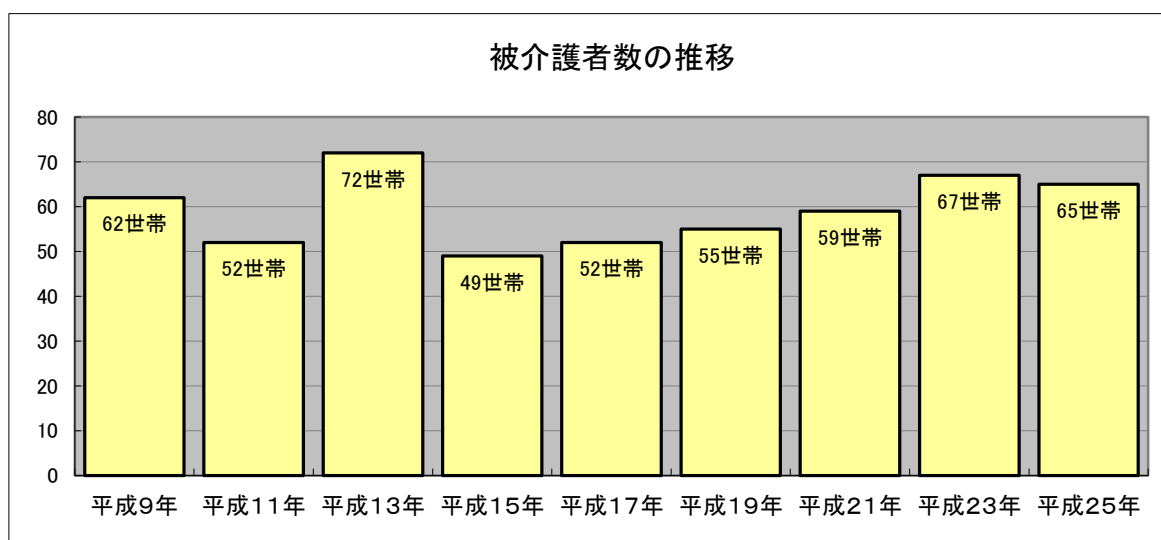
候区別で見ると、御牧校区が23世帯、佐山校区が15世帯、東角校区が27世帯となっており、御牧校区のみは5世帯の増加となったが、佐山校区は6名の減少、東角校区は1名の微減となっている。

要介護者の年齢が「90歳以上」が35.4%と一番多く、前回調査では「85歳～90歳」が34.3%で一番多かったことから、要介護者の高齢化が進んでいることがわかる。

また、主な介護者の性別は67.7%が女性、27.7%が男性となっており前回と同様の結果となっている。

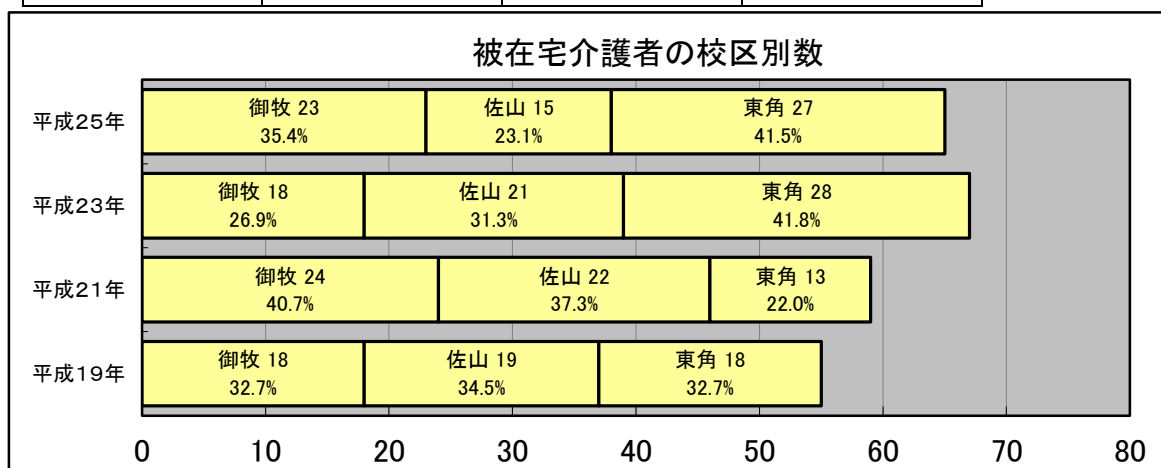
【在宅で介護を受けている高齢者数の推移】

年 度	平成11年	平成13年	平成15年	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年
対象数	52	72	49	52	55	59	67	65



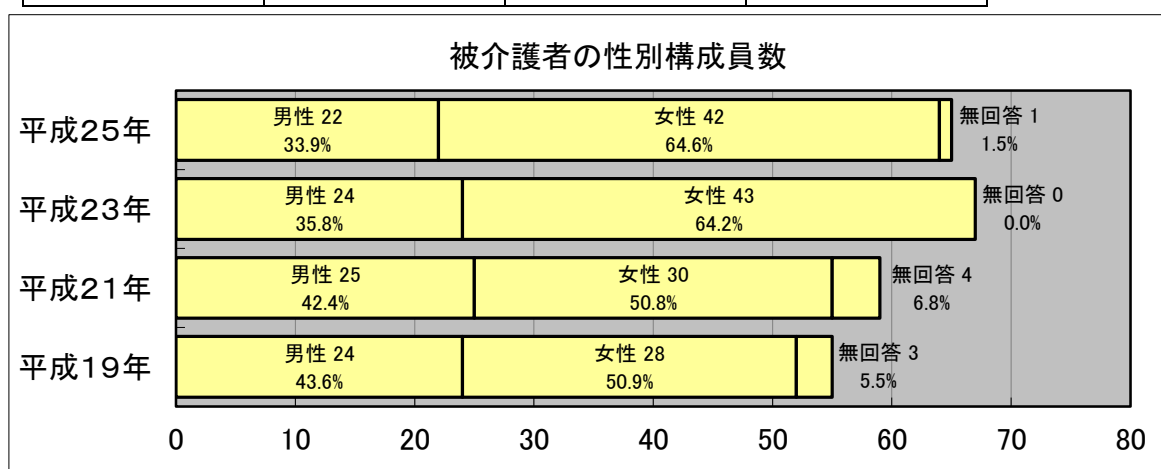
【在宅被介護者の校区別数】

調査年度	御牧校区	佐山校区	東角校区
平成 25 年	23 (35.4%)	15 (23.1%)	27 (41.5%)
平成 23 年	18 (26.9%)	21 (31.3%)	28 (41.8%)
平成 21 年	24 (40.7%)	22 (37.3%)	13 (22.0%)
平成 19 年	18 (32.7%)	19 (34.6%)	18 (32.7%)



【被介護者の性別構成】

	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
平成 25 年	22 (33.8%)	42 (64.6%)	1 (1.5%)
平成 23 年	24 (35.8%)	43 (64.2%)	0 (0.0%)
平成 21 年	25 (42.4%)	30 (50.8%)	4 (6.8%)
平成 19 年	24 (43.6%)	28 (50.9%)	3 (5.5%)



【調査項目ごとの集計】

問 1. 介護が必要な高齢の方と介護者の性別を教えてください。

	要介護者		主たる介護者	
	回答	%	回答	%
男性	22	33.8%	18	27.7%
女性	42	64.6%	44	67.7%
無回答	1	1.5%	3	4.6%
合計	65		65	

要介護者は男性が 33.8%、女性が 64.6% の結果となり、前回とほぼ同じ比率だった。また主たる介護者の性別は 67.7% が女性、27.7% が男性となり、要介護者と同じく前回とほぼ同じ比率だった。家族介護の役割は未だ女性に課せられていることがわかる。

問 2. 介護が必要な高齢の方と介護者の年齢を教えてください。

要介護者	回答	%	介護者	回答	%
69 歳以下	6	9.2%	34 歳以下	0	0.0%
70 歳～74 歳	8	12.3%	35 歳～49 歳	3	4.6%
75 歳～79 歳	10	15.4%	50 歳～59 歳	13	20.0%
80 歳～84 歳	8	12.3%	60 歳～69 歳	28	43.1%
85 歳～89 歳	8	12.3%	70 歳～79 歳	14	21.5%
90 歳以上	23	35.4%	80 歳以上	5	7.7%
無回答	2	3.1%	無回答	2	3.1%
合計	65		合計	65	

要介護者の年齢は、「90 歳以上」が 35.4% と最も多く、次いで「75 歳～79 歳」、「70 歳～74 歳」となっており、要介護者の高齢化が進んでいることが伺える。

また、介護者を見ると、「60 歳～69 歳」の人が 43.1% と一番多く、次いで「70 歳～79 歳」の 21.5% という順となった。

問 3. 介護されている期間はどれぐらいですか。

	回答数	%
3 ヶ月以上 1 年未満	3	4.5%
1 年以上 2 年未満	7	10.6%
2 年以上 3 年未満	8	12.1%
3 年以上 5 年未満	11	16.7%
5 年以上 7 年未満	13	19.7%
7 年以上 10 年未満	9	13.6%
10 年以上	13	19.7%
無回答	2	3.0%
合計	66	

介護期間は「5 年以上 7 年未満」、「10 年以上」が 20.0% で一番多く、次いで「3 年以上 5 年未満」の 16.9% という結果だった。

5 年以上の方が 53.8% となっており、長期間の介護を必要とされる状況があるものと考えられる。

問4. あなた(介護者)の健康状態はいかがですか。

	回答数	%
大変健康である	0	0.0%
大きな病気や障害もなく、普通に生活をしている	33	50.8%
何らかの病気はあるが、自宅で生活できている	26	40.0%
その他	4	6.2%
無回答	2	3.1%
合計	65	

「大きな病気や障害もなく、普通に生活をしている」と答えた人が50.8%で、40.8%の人が「何らかの病気は介護者の健康状態については、何らかの病気はあるが、自宅で生活できている」と答えられた。

問5. 介護上困っていることは何ですか。

	回答数	%
外出の介助(病院等への送迎)	26	13.8%
体を拭く・入浴の介助	15	7.9%
排泄の介助	17	9.0%
食事の介助	16	8.5%
着替え等の介助	18	9.5%
自由時間がない	22	11.6%
家事や育児に支障がある	4	2.1%
仕事に就けない・支障が生じる	5	2.6%
心身的負担	24	12.7%
経済的負担	8	4.2%
意思疎通ができにくい	15	7.9%
その他	6	3.2%
無回答	13	6.9%
合計	189	

※複数回答あり

介護上の困りごとは、「外出の介助」が13.8%と最も多く、次に「心身的負担」、「自由時間がない」と続いている。日々の介助を負担に感じている人が多く、介護者に自由時間がない状況があるものとする。

問6. 介護保険サービスを利用していますか。

	回答数	%
利用している	47	72.3%
利用していない	10	15.4%
無回答	8	12.3%
合計	65	

介護保険サービスに72.3%の方が利用していると答えている。しかし、15.4%の方は要介護状態にありながらも介護保険サービスを利用していない状況がある。

問7. 介護保険サービス利用していると答えの方にお聞きします。サービスに満足していますか。

	回答数	%
サービスに満足している	36	55.4%
サービスに満足していない	7	10.8%
無回答	22	33.8%
合計	65	

55.4%の人は介護保険サービスに満足していると答えているが、10.8%の方は満足していない状況がある。

問8. 介護保険サービス利用していない方にお聞きします。利用しない理由を教えてください。

	回答数	%
家族で介護が出来るため	5	16.7%
本人が利用を嫌がっている	3	10.0%
費用負担が大変なため	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	22	73.3%
合計	30	

「無回答」が73.3%で最も多く、次いで「家族で介護ができるため」が16.7%となっている。今回の調査では大半の人が無記入という結果になった。

問9. 将来、家族だけで介護ができなくなった場合、どうしたいですか。

	回答数	%
ホームヘルパーやショートステイなどの在宅福祉サービスを利用する	25	38.5%
老人ホームなどの施設を利用する	24	36.9%
わからない	6	9.2%
その他	1	1.5%
無回答	9	13.8%
合計	65	

在宅福祉サービスを利用すると答えた人が最も多く38.5%となっており、次いで施設を利用するとの回答が36.9%となった。

前回調査では施設入所すると答えた人が多かったが、今回の調査では若干であるが在宅生活を考えられる答えが増加した。

問10. 社会福祉協議会では、地域福祉を充実させるためにさまざまな活動や取り組みを行っていますが、要望等があればお書きください。

①福祉サービスについて

- ・ショートステイの本来の定義は、家族がその期間世話ができない時に地元の施設で世話を受けることと考えているが、申込み2か月前でたいてい満室とのこと。どうも特定の人が定期的に利用されているのではないか。本当に必要な時に臨時的に利用するのが本筋では？介護とはできるだけ自宅で介護ができないこと（たとえば入浴など）を施設でお願いするものと私は考えている。
- ・政府の発表では昨年4月よりホームヘルパーに胃ろうの注入、痰の吸引ができることとなりましたが、宇治、城陽、久御山町のホームヘルパーの人たちは講習会等何も指導を受けておられません。そのため、介護保険サービスのショートステイを利用したくても日中は看護師さんが胃ろう、痰の吸引をしてくれるが、夜は介護士しかないので胃ろう、痰の吸引ができないから預かってもらえないと聞いてあきらめてしまいます。

②住環境のことについて

- ・車いす生活のため外出ができないのでベランダにリフトを取り付けていきたいので公団に働きかけているのですが、なかなかうまくいきません。

③その他について

- ・回復していないのに、回復期と位置付けて保険の範囲内で治療することに問題がある。
- ・脳梗塞になると病院によって初期の取り組みと治療の差がある。初期治療が適切でないと回復の差がでる。また術後のリハビリも本当に治してもらえるのか心配するところもある。

4. ひとり暮らし高齢者世帯調査のまとめ

【概況】

今回調査での「ひとり暮らし高齢者」の人数は318人であり、2年前の調査と比べて12人の増加となっており、10年前の平成15年度の調査では178人だったことから、10年間で約1.8倍に増加していることがわかる。

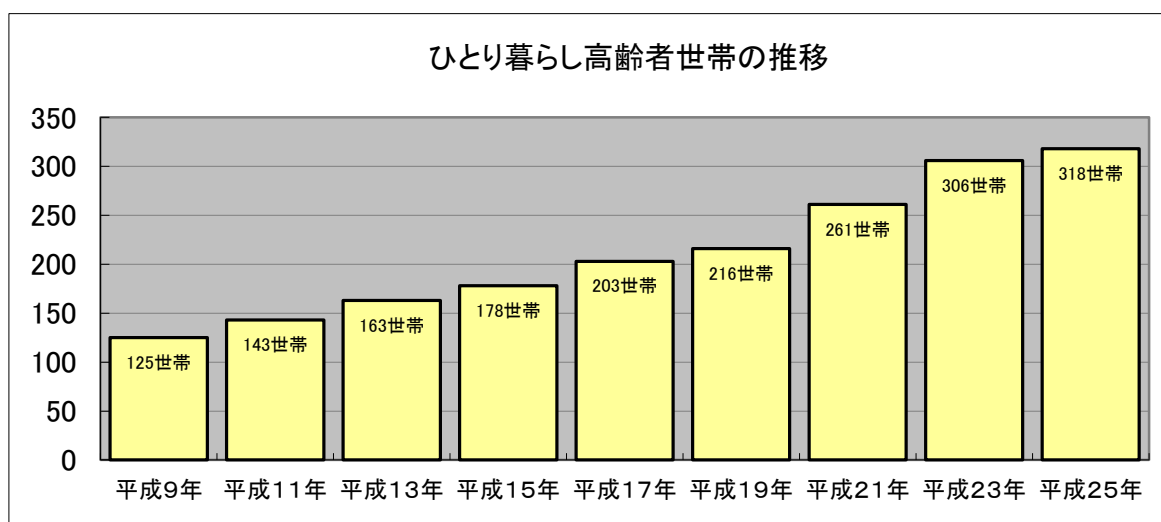
校区別に見ると御牧校区が51人、佐山校区が89人、東角校区が178人となっており、佐山校区は9人の増加、東角校区は15人の増加となったが、御牧校区は12人の減少となっている。

性別については女性が大変多く、248人で78.0%となっている。

ひとり暮らし高齢者の増加傾向は、今後も当分の間続くものと考えられることから、福祉情報の提供や地域における見守り体制等の推進にこれまで以上に力を入れていく必要があるものとする。

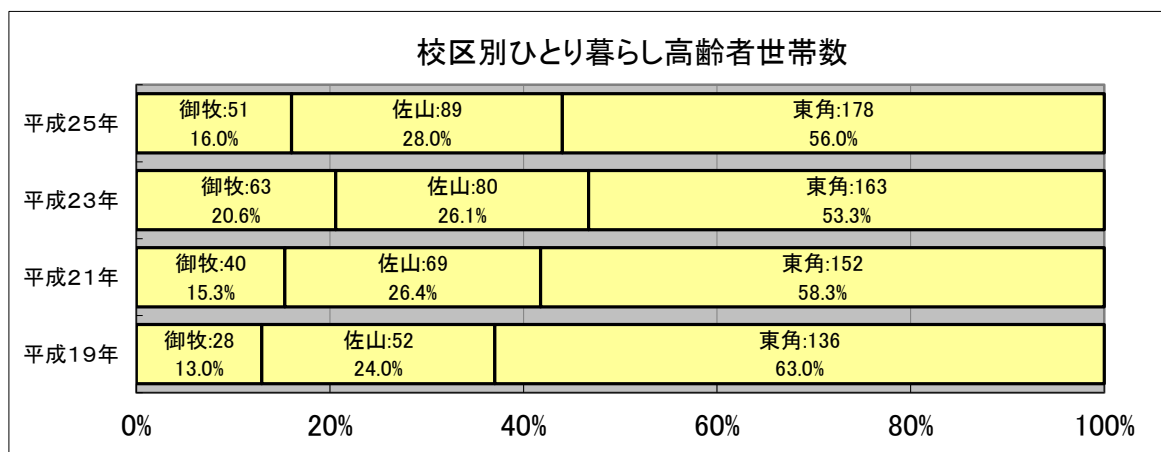
【ひとり暮らし世帯数の推移】

年 度	平成11年	平成13年	平成15年	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年
対象数	143	163	178	203	216	261	306	318



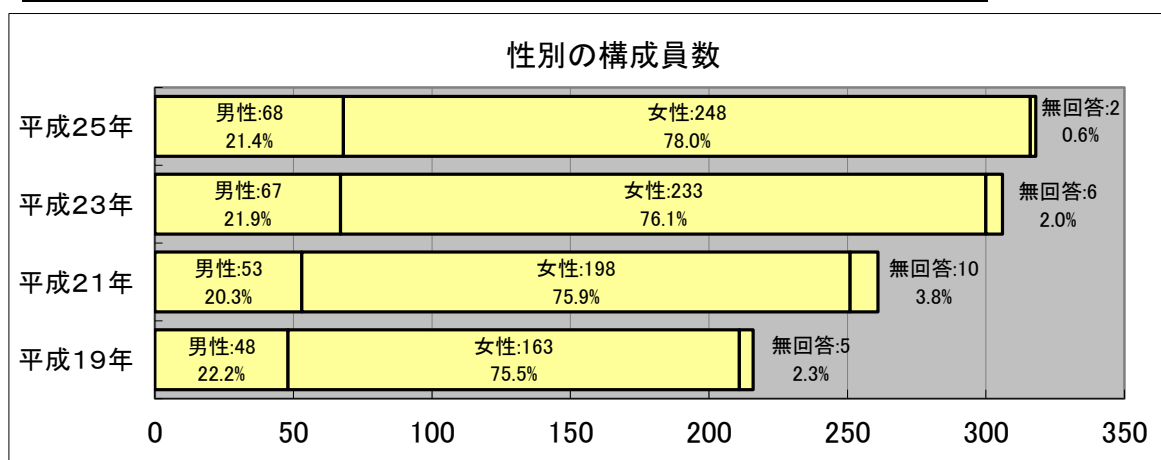
【校区別ひとり暮らし高齢者世帯数】

調査年度	御牧校区	佐山校区	東角校区
平成 25 年	51 (16.0%)	89 (28.0%)	178 (56.0%)
平成 23 年	63 (20.6%)	80 (26.1%)	163 (53.3%)
平成 21 年	40 (15.3%)	69 (26.4%)	152 (58.3%)
平成 19 年	28 (13.0%)	52 (24.0%)	136 (63.0%)



【性別の構成員数】

	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
平成 25 年	68 (21.4%)	248 (78.0%)	2 (0.6%)
平成 23 年	67 (21.9%)	233 (76.1%)	6 (2.0%)
平成 21 年	53 (20.3%)	198 (75.9%)	10 (3.8%)
平成 19 年	48 (22.2%)	163 (75.5%)	5 (2.3%)



【調査項目ごとの集計】

問1. あなたの性別を教えてください。

	回答数	%
男性	68	21.4%
女性	248	78.0%
無回答	2	0.6%
合計	318	

男性が21.4%、女性が78.0%と女性が大変多い結果となった。この比率は前回とほぼ同じ結果となっている。

問2. あなたの年齢を教えてください。

	回答	%
69歳以下	52	16.4%
70歳～74歳	79	24.8%
75歳～79歳	78	24.5%
80歳～84歳	57	17.9%
85歳～89歳	35	11.0%
90歳以上	14	4.4%
無回答	3	0.9%
合計	318	

年齢については、「70歳～74歳」が24.8%と最も多く、次いで「75歳～79歳」が24.5%、「80歳～84歳」の17.9%と続いている。

前回の調査では「75歳～79歳」の人が一番多かったが、今回もほぼ同じ状況だと考える。

問3. お子さんや近親者とはどのくらいの間隔で会っておられますか。

	回答数	%
ほぼ毎日	56	17.2%
週に1～2回	84	25.8%
月に1～2回	86	26.5%
年に5～6回	20	6.2%
年に1～2回	27	8.3%
ほとんどない	29	8.9%
近親者はいない	14	4.3%
無回答	9	2.8%
合計	325	

近親者と会う間隔は、7割近い方が月に1回以上の答えを選んでいる。

しかし、「ほとんどない」や「近親者はいない」と答えている人が1割強の結果となっていることに視点をおく必要があるものとする。

問4. お子さんや近親者は、どこにお住まいですか。

	回答数	%
久御山町	94	20.6%
宇治市	65	14.3%
城陽市	32	7.0%
京都市	86	18.9%
京都府内で前記以外の地域	32	7.0%
京都府外の地域	129	28.3%
無回答	18	3.9%
合計	456	

「京都府以外の地域」が最も多く28.3%となっており、次いで「久御山町」、「京都市」、「宇治市」と続いている。

4割強の人は近親者が宇城久管内に住んでいるが、3割弱の人は近親者が遠方に住んでいることがわかる。

問5. あなたの健康状態はいかがですか。

	回答数	%
大変健康である	18	5.5%
大きな病気や障害もなく普通に生活している	105	32.2%
何らかの病気はあるが、自宅で生活できている	174	53.4%
その他	24	7.4%
無回答	5	1.5%
合計	326	

健康状態については、何らかの病気がある人が5割を超えており、大変健康と答えた人は5.5%と大変少ない結果となっている。

この傾向は、前回の同じような結果となっている。

問6. あなたは、ふだん健康に気をつけていますか。

	回答数	%
気をつけている	245	76.8%
気をつけていない	7	2.2%
どちらともいえない	36	11.3%
無回答	31	9.7%
合計	319	

245人(76.8%)の人が「気をつけている」と答えている。

4年前の調査では、9割程度の人が「気をつけている」と答えていたが、前回調査から徐々に減少している。

問7. 問6で「気をつけている」とお答えの方にお聞きします。特に気をつけていることは何ですか。

	回答数	%
散歩やスポーツをしている	111	9.8%
栄養バランスなど食事に気をつけている	152	13.4%
規則正しい生活を心がけている	147	13.0%
定期的に健診を受けている	174	15.4%
睡眠時間を十分とるようにしている	113	10.0%
酒やたばこを控えている	46	4.1%
地域の活動に参加している	43	3.8%
健康に関心をもつようにしている	144	12.7%
気持ちをなるべく明るく保つようにしている	132	11.7%
その他	15	1.3%
無回答	56	4.9%
合計	1133	

(複数回答あり)

健康について特に気をつけていることは、「定期的に検診」が一番多く、次いで「食事」、「規則正しい生活」、「健康への関心」となっている。

1,133という大変多い複数回答となっていることから、さまざまな設問に複数回答をされたことが伺える。

問8. あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。

	回答数	%
毎日外出している	93	28.5%
週に数回外出している	134	41.1%
月に数回外出している	47	14.4%
ほとんど外出していない	12	3.7%
分からない	1	0.3%
その他	13	4.0%
無回答	26	8.0%
合計	326	

7割弱の人は月に数回以上外出していると回答している。逆に、12人(3.7%)の人は「ほとんど外出していない」と回答している。

少数ではあるが、外出をほとんどしていない人が確実におられることがわかる。

問9. 毎日の生活の中で、心配していることや困っていることがありますか。

	回答数	%
親族関係	6	1.2%
病気	104	20.1%
収入	49	9.5%
仕事	19	3.7%
近所付き合い	5	1.0%
食事の用意	10	1.9%
掃除	30	5.8%
ゴミ出し	16	3.1%
買い物	22	4.3%
将来のこと	79	15.3%
気軽に付き合える友人がいない	12	2.3%
日々の金銭管理	2	0.4%
話を聞いてもらえる人がいない	10	1.9%
心配事はない	65	12.6%
その他	19	3.7%
無回答	69	13.3%
合計	517	

(複数回答あり)

心配ごとや困りごとについては、「病気」が104人(20.1%)で一番多く、また「将来のこと」や「収入」のことや「毎日の家事」、「買い物」などが比較的回答数が多い。

やはり高齢化による不安を潜在的にもっておられるのではないかと考える。

ただ、12.6%の65人が「心配ごとはない」と答えられている。

問10. 将来、一人で生活が続けることが不可能になった場合、どうしたいと思われますか。

	回答数	%
子どもや近親者に頼る	84	20.7%
ホームヘルパーやショートステイなどの在宅福祉サービスを利用する	110	27.2%
老人ホームなどの施設を利用する	77	19.0%
わからない	95	23.5%
その他	16	4.0%
無回答	23	5.7%
合計	405	

介護が必要となった場合、110人(27.2%)の人が在宅サービスを利用すると答えている。

ただ、23.5%の人は「わからない」と答えている。今後の人生についての大切な選択を行うことができる情報提供が必要と考える。

問11. 社会福祉協議会では、地域福祉を充実させるためにさまざまな活動や取り組みを行っていますが、要望や希望等があれば何でもお書きください。

①介護保険サービスについて

- ・収入にあった老人ホームをつくってほしい。
- ・週3回ヘルパーさんに来てもらっています。その際に町の事業等いろいろな話をしてくださいますので、来てくださるのが楽しみです。
- ・老人ホームに即入所するのが困難のようである。私は日々、健康に注意して施設にはあまりお世話にならないようにと思っています。
- ・病気になっても（施設への）入所を待たされては何の役にも立たないと思います。町の予算があつて無理は申しませんが、何か良い方法を教えてください。
- ・週1回お風呂掃除にヘルパーさんが来ていただき、大変助かっています。
- ・将来老人ホームに入所したいと思っていますが、金銭的に無理です。

②福祉サービスについて

- ・週に何回かいきいきホールを利用できて嬉しいです。
- ・民生児童委員さんをはじめ皆様にお世話になり、大変うれしく思っています。細かい気配りをいただき喜んでいきます。
- ・一人暮らしで親戚が近くにいないので民生委員さんが訪ねてきてくだされば！
- ・現在1年間で2,500円のバス券補助がありますが、一人暮らしだとどこに行くにもバス利用のため、すぐになくなってしまいます。
- ・高齢者に関係のあるパンフレットがあるなら教えてほしい。なければ作ってください。

③生活について

- ・交通費がもっとほしい。
- ・先のことが不安（突然起こる体調不良、寝たきりになる、認知症になる）
- ・毎日の買い物に不便を感じている。

④社会福祉協議会について

- ・一人暮らし高齢者の社会見学で京都水族館、ホテルの食事が大変良かったです。会費を負担しても日帰り旅行がしたいです。（美術館、美術品鑑賞）
- ・一人暮らし高齢者の社会見学を楽しみにしています。京都の北部を知らないので計画をしてください。
- ・集会所に来て社協職員から血圧または健康のことなどを教えてくださっていますので喜んでいきます。
- ・医療費分だけを助けてほしいと社会福祉協議会にお願いをしたら、家賃の安いところに代われと言われましたが、今住んでいる所のように買い物、バス停、病院の送迎バ

スが近くでないとい生活ができませんので、今のままでがんばります。

⑤その他

- ・このアンケートの設問が不意味、どれにも合わないことが多い。本当はその他ばかりになる。
- ・毎日が退屈。会話がない。気軽に話がしたい。
- ・災害があった場合、不安に思います。
- ・72歳まで京都市で勤務をしていたので、地域の活動に参加しにくい。
- ・高齢者を見捨てないでほしい。